2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　株式会社エスネットワークス　　上場取引所　東
コード番号　　5867　　ＵＲＬ　https://esnet.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）高畠　義紀
問合せ先責任者　（役職名）グローバルコーポレート部長　（氏名）尾身　修一　　ＴＥＬ　03-6826-6000

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,349	33.8	618	184.7	599	137.3	341	111.9
2025年12月期第３四半期	2,502	13.9	217	0.9	252	19.8	161	△8.6

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　338百万円（151.1%）　2025年12月期第３四半期　134百万円（△0.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	108.70	－
2025年12月期第３四半期	53.49	－

（注）2025年12月期第３四半期及び2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,292	2,273	59.7
2025年12月期	2,686	1,825	65.1

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,966百万円　2025年12月期　1,748百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	50.00	50.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				－	－

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
　　２．当社は2026年12月期において配当を予定しておりますが、配当予想額につきましては未定であります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	28.7	650	112.2	620	84.0	405	86.2	128.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規　3社　（社名）ES NETWORKS JV Ⅰ（民法上の任意組合）、ES NETWORKS FUND Ⅰ投資事業組合（民法上の任意組合）、株式会社サンワロジ

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,166,092株	2025年12月期	3,148,100株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	7,302株	2025年12月期	12,078株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,145,260株	2025年12月期３Ｑ	3,016,053株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（重要な後発事象の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げの進展等を背景に雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、海外経済の減速懸念、金融市場を取り巻く環境の変化、地政学的リスクの継続などにより、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,349,459千円（前年同期比33.8％増）、営業利益618,223千円（同184.7％増）、経常利益599,574千円（同137.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益341,897千円（同111.9％増）となりました。

各セグメント別の経営成績は次のとおりであります。なお、第２四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「投資事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとしております。また、第２四半期連結会計期間において新たに開始した物流事業については、量的な重要性が乏しいため、「その他」の区分に含めております。

（コンサルティング事業）

顧客企業においては資本効率を意識した経営の要請やグローバル化、労働者不足、IT技術の進歩などさまざまな外部環境の変化が生じており、このような変化に対応すべく事業ポートフォリオの見直しや、ノンコア事業の分離、成長分野への積極投資といった企業自身の変革が加速しております。

一方、顧客企業の内部では変革に対応するノウハウの不足や過熱する採用マーケット下で専門人材の採用が困難といった課題が生じており、当社グループのCFO領域を中心とした経営課題の解決に向けた実行支援のニーズが高まっております。

こうした状況の下、拡大するマーケット需要を取り込み売上高の拡大に注力するとともに、今期の重要課題であるコンサルタントの採用及び専門性の強化によるコンサルティング体制の増強を推進してまいりました。

以上の結果、コンサルティング事業の当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高2,808,256千円（前年同期比12.8％増）、営業利益380,986千円（前年同期比66.4％増）となりました。

（投資事業）

投資事業の当第３四半期連結累計期間の業績は、営業投資有価証券の譲渡及び配当の受領により、売上高419,075千円（前年同期は15,960千円）、営業利益283,952千円（前年同期は営業損失11,858千円）となりました。

（その他事業）

その他事業には、2026年４月に実施した株式会社サンワロジの買収により参入した物流事業が含まれており、2026年５月以降の経営成績を当第３四半期連結財務諸表において取り込んでおります。当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高135,582千円、営業損失46,715千円となりました。なお、営業損失となりましたのは、主に買収時に発生したアドバイザリー費用等の計上によるものです。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は2,388,612千円となり、前連結会計年度末に比べ385,401千円増加いたしました。これは主に営業投資有価証券が306,719千円増加し、現金及び預金が73,657千円増加したことによるものです。固定資産は904,160千円となり、前連結会計年度末に比べ220,926千円増加いたしました。これは主にのれんが196,254千円増加したことによるものです。

この結果、総資産は3,292,773千円となり、前連結会計年度末に比べ606,327千円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は678,053千円となり、前連結会計年度末に比べ84,566千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が68,040千円増加したこと、及び賞与引当金が20,649千円増加したことによるものです。固定負債は340,876千円となり、長期借入れを行ったことにより、前連結会計年度末に比べ73,349千円増加いたしました。

この結果、負債合計は1,018,929千円となり、前連結会計年度末に比べ157,915千円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,273,843千円となり、前連結会計年度末に比べ448,412千円

増加いたしました。これは主に利益の積み上げと配当実施により利益剰余金が185,096千円増加したこと、及び非支配株主持分が230,501千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は59.7%（前連結会計年度末は65.1%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期の連結業績予想は、2026年８月７日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました数値から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,380,687	1,454,345
売掛金	354,186	375,934
仕掛品	418	1,635
営業投資有価証券	87,340	394,059
その他	275,843	251,454
貸倒引当金	△95,265	△88,818
流動資産合計	2,003,210	2,388,612
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	135,009	126,572
その他（純額）	24,706	35,246
有形固定資産合計	159,716	161,819
無形固定資産		
のれん	53,651	249,905
顧客関連資産	43,631	39,891
その他	40	10
無形固定資産合計	97,323	289,807
投資その他の資産		
投資有価証券	70,054	61,115
繰延税金資産	85,764	84,975
長期貸付金	―	50,341
敷金及び保証金	142,417	143,982
その他	128,342	112,504
貸倒引当金	△384	△384
投資その他の資産合計	426,194	452,534
固定資産合計	683,234	904,160
資産合計	2,686,445	3,292,773
負債の部		
流動負債		
１年内返済予定の長期借入金	127,514	133,316
未払金	220,551	159,716
未払法人税等	83,142	151,182
契約負債	63,786	71,856
賞与引当金	29,407	50,056
その他	69,085	111,924
流動負債合計	593,486	678,053
固定負債		
長期借入金	267,527	340,876
固定負債合計	267,527	340,876
負債合計	861,013	1,018,929

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	636,250	647,315
資本剰余金	315,566	342,317
利益剰余金	779,820	964,916
自己株式	△7,637	△331
株主資本合計	1,723,999	1,954,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	△3,930
為替換算調整勘定	24,744	16,366
その他の包括利益累計額合計	24,744	12,436
新株予約権	3,052	3,052
非支配株主持分	73,635	304,137
純資産合計	1,825,431	2,273,843
負債純資産合計	2,686,445	3,292,773

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,502,785	3,349,459
売上原価	1,380,768	1,743,946
売上総利益	1,122,016	1,605,512
販売費及び一般管理費	904,875	987,289
営業利益	217,141	618,223
営業外収益		
受取利息	5,021	9,413
為替差益	575	337
投資事業組合運用益	40,011	308
貸倒引当金戻入額	－	3,998
その他	674	1,796
営業外収益合計	46,283	15,855
営業外費用		
支払利息	1,016	5,850
貸倒引当金繰入額	5,897	－
株式報酬費用消滅損	3,852	24,664
その他	0	3,989
営業外費用合計	10,767	34,504
経常利益	252,657	599,574
特別利益		
事業譲渡益	30,000	－
投資有価証券売却益	－	6,000
特別利益合計	30,000	6,000
特別損失		
投資有価証券評価損	13,313	－
特別損失合計	13,313	－
税金等調整前四半期純利益	269,344	605,574
法人税、住民税及び事業税	101,248	231,695
法人税等調整額	△334	16,680
法人税等合計	100,913	248,376
四半期純利益	168,430	357,197
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,100	15,300
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,329	341,897

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	168,430	357,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,105	△9,475
為替換算調整勘定	△17,701	△9,657
その他の包括利益合計	△33,807	△19,133
四半期包括利益	134,623	338,064
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,347	329,589
非支配株主に係る四半期包括利益	1,276	8,475

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第４条第１項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第４条第２項に定める記載の省略が適用しております。）に準拠して作成しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	コンサルティング事業	投資事業	合計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,486,824	15,960	2,502,785	－	2,502,785	－	2,502,785
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,800	－	1,800	－	1,800	△1,800	－
計	2,488,625	15,960	2,504,585	－	2,504,585	△1,800	2,502,785
セグメント利益又は損失（△）	229,000	△11,858	217,141	－	217,141	－	217,141

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

２．セグメント売上の「調整額」△1,800千円は、セグメント間の内部売上高又は振替高であります。

２．　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

３．　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	コンサルティング事業	投資事業	合計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,794,801	419,075	3,213,876	135,582	3,349,459	－	3,349,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,455	－	13,455	－	13,455	△13,455	－
計	2,808,256	419,075	3,227,332	135,582	3,362,914	△13,455	3,349,459
セグメント利益又は損失（△）	380,986	283,952	664,938	△46,715	618,223	－	618,223

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、物流事業であります。

２．セグメント売上の「調整額」△13,455千円は、セグメント間の内部売上高又は振替高であります。

２．　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

３．　報告セグメントの変更等に関する事項

第２四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「投資事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、第２四半期連結会計期間において新たに開始した物流事業については、量的な重要性が乏しいため、「その他」の区分に含めて記載しております。

４．　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「その他」において、第２四半期連結会計期間に株式会社サンワロジの株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては209,585千円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	14,209千円	20,322千円
のれんの償却額	―	13,331千円

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。